

# 2010年度第3四半期 連結業績概要

(2010年12月31日に終了した3か月間)

ソニー株式会社  
Sony Corporation

- 当四半期の連結営業利益は、為替の悪影響を大きく受けたものの、前年同期比若干の減益にとどまり、1,375億円を計上
- ゲーム事業の貢献があったネットワークプロダクツ&サービス分野は大幅増益。一方、主に液晶テレビの影響によりコンシューマー・プロフェッショナル&デバイス分野などが減益

## FY10. 3Q 連結業績

(億円)

	FY09 3Q	FY10 3Q	前年同期比	前年同期比 (LC*)
売上高及び営業収入	22,379	22,062	△1.4 %	+6%
営業利益	1,461	1,375	△5.9 %	+22%
税引前利益	1,239	1,315	+6.2 %	
当社株主に帰属する四半期純利益	792	723	△8.6 %	
普通株式1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益(希薄化後)	78.76 円	71.96 円	△8.6 %	
<hr/>				
営業利益	1,461	1,375	△5.9 %	+22%
控除： 持分法による投資利益	△59	26	-	
戻し入れ： 構造改革費用	135	160	+19.0%	
上記調整後営業利益	1,655	1,509	△8.8%	

ソニーの経営陣は営業利益に加え、持分法による投資利益及び構造改革費用による影響を除いた調整後営業利益を用いて業績を評価しています。この開示は、米国会計原則に則っていませんが、投資家の皆様にソニーの営業概況の現状及び見通しを理解いただくための有益な情報を提供することによって、ソニーの営業利益に関する理解を深めていただくために表示しているものです。

為替変動による業績への影響額		平均レート	FY09 3Q	FY10 3Q
売上高及び営業収入:	約 △1,661 億円	1ドル	88.7 円	81.6 円
営業利益:	約 △376 億円	1ユーロ	131.2 円	110.7 円
		其他通貨		5%円高

\* LCベース: 円と現地通貨との間為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)

## FY10. 4月-12月期 連結業績

(億円)

	FY09 4月-12月期	FY10 4月-12月期	前年同期比	前年同期比 (LC*)
売上高及び営業収入	54,989	56,004	+1.8%	+9%
営業利益	878	2,732	+211.1%	+318%
税引前利益	739	2,732	+269.7%	
当社株主に帰属する純利益	158	1,292	+719.6%	
普通株式1株当たり当社株主に 帰属する純利益(希薄化後)	15.69円	128.58円	+719.5%	
<hr/>				
営業利益	878	2,732	+211.1%	+318%
控除： 持分法による投資利益	△333	143	-	
戻し入れ： 構造改革費用	802	397	△50.5%	
上記調整後営業利益	2,013	2,986	+48.3%	

ソニーの経営陣は営業利益に加え、持分法による投資利益及び構造改革費用による影響を除いた調整後営業利益を用いて業績を評価しています。この開示は、米国会計原則に則っていませんが、投資家の皆様にソニーの営業概況の現状及び見通しを理解いただくための有益な情報を提供することによって、ソニーの営業利益に関する理解を深めていただくために表示しているものです。

為替変動による業績への影響額		平均レート	FY09 4月-12月期	FY10 4月-12月期
売上高及び営業収入:	約 △3,783 億円	1ドル	92.6円	85.8円
営業利益:	約 △984 億円	1ユーロ	131.5円	111.8円
		其他通貨		4%円高

\* LCベース: 円と現地通貨との間為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)

## FY10. 3Q セグメント情報

(億円)

		FY09 3Q	FY10 3Q	前年同期比	前年同期比(LC*)	為替影響額
CPD	売上高	10,468	10,909	+4.2%	+13%	△916億円
	営業利益	508	268	△240億円	△68億円	△172
NPS	売上高	6,055	5,666	△6.4%	+3%	△554
	営業利益	195	457	+263億円	+465億円	△203
映画	売上高	2,032	1,490	△26.7%	△20%	
	営業利益	141	47	△94億円		
音楽	売上高	1,635	1,398	△14.5%	△10%	
	営業利益	231	195	△36億円		
金融	金融ビジネス収入	2,056	2,091	+1.7%		
	営業利益	350	327	△23億円		
ソニー・エリクソン	持分法投資利益	△102	4	+106億円		
その他**	売上高	1,407	1,374	△2.3%		
	営業利益	97	91	△5億円		

売上高／金融ビジネス収入：営業収入及びセグメント間取引を含む

\* LCベース：円と現地通貨との間には為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)、映画については米ドルベース、音楽については米国子会社の米ドルベースの売上を前年同期の為替レートで円換算

\*\* その他分野には、ディスク製造事業、ソネットエンタテインメント(株)、ソニーイーエムシーエス(株)が製造委託されている一部の事業などが含まれます

## FY10. 4月-12月期 セグメント情報

(億円)

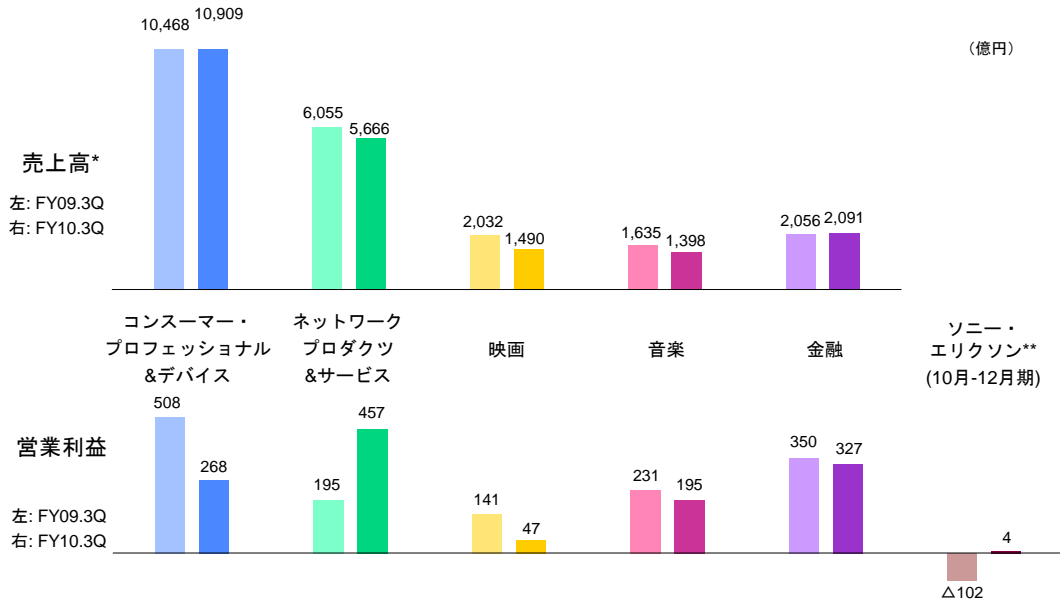
		FY09 4月-12月期	FY10 4月-12月期	前年同期比	前年同期比(LC*)	為替影響額
CPD	売上高	27,511	28,657	+4.2%	+12%	△2,188億円
	営業利益	484	938	+453億円	+970億円	△517
NPS	売上高	12,032	12,616	+4.9%	+14%	△1,134
	営業利益	△763	488	+1,251億円	+1,769億円	△518
映画	売上高	5,096	4,259	△16.4%	△10%	
	営業利益	95	27	△68億円		
音楽	売上高	3,968	3,611	△9.0%	△5%	
	営業利益	371	351	△20億円		
金融	金融ビジネス収入	6,353	6,000	△5.6%		
	営業利益	1,161	1,057	△103億円		
ソニー・エリクソン	持分法投資利益	△356	36	+392億円		
その他**	売上高	3,487	3,561	+2.1%		
	営業利益	17	65	+48億円		

売上高／金融ビジネス収入：営業収入及びセグメント間取引を含む

\* LCベース：円と現地通貨との間には為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)、映画については米ドルベース、音楽については米国子会社の米ドルベースの売上を前年同期の為替レートで円換算

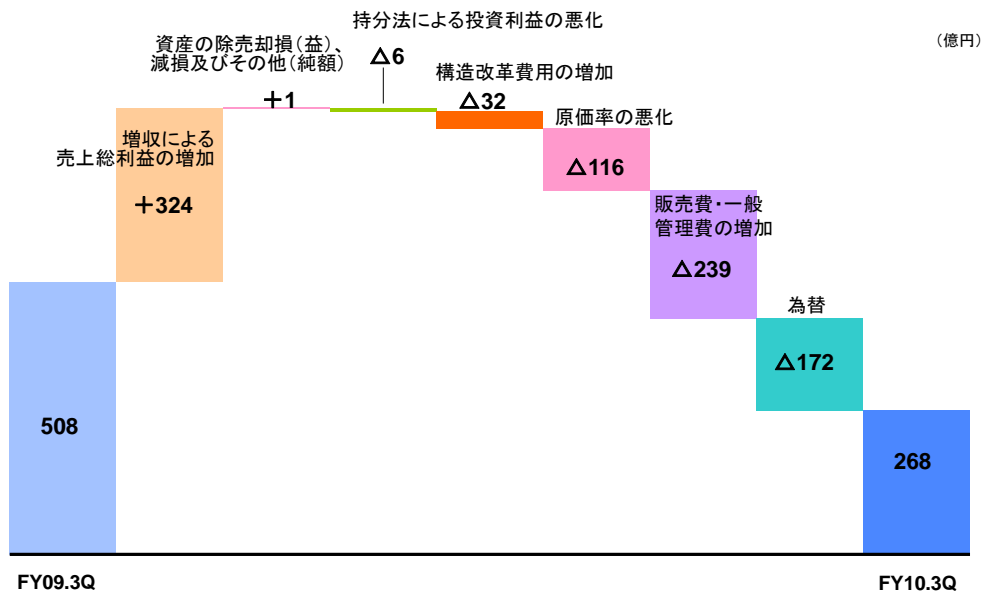
\*\* その他分野には、ディスク製造事業、ソネットエンタテインメント(株)、ソニーイーエムシーエス(株)が製造委託されている一部の事業などが含まれます

## FY10.3Q セグメント別売上高・営業利益



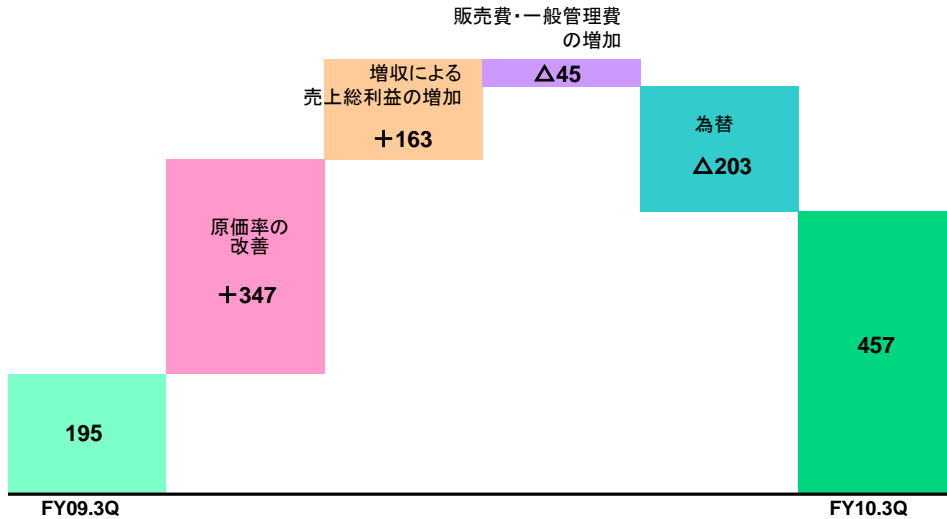
\* 営業収入及びセグメント間取引を含む。金融は金融ビジネス収入。 \*\* 持分法投資利益

## FY10.3Q 消費者・プロフェッショナル & デバイス: 営業利益増減要因



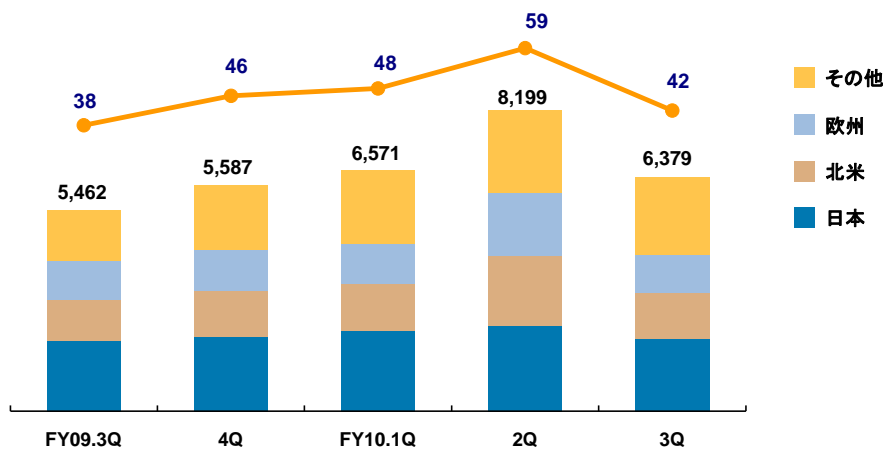
## FY10.3Q ネットワークプロダクツ&サービス：営業利益増減要因

(億円)



## FY10.3Q CPD及びNPSセグメント合計棚卸資産(地域別)

(億円、日)



・6,379億円(前年同期末比916億円の増加。2010年9月末比では、1,821億円の減少)  
セグメント変更にともない、前年度の各四半期末については組み替え再表示しています

棒グラフ: 棚卸資産(億円単位)

折れ線グラフ: 棚卸資産回転日数(四半期期首期末平均棚卸資産÷四半期期中平均日次売上)

## FY10 連結業績見通し

(億円)

	FY09	10月時点 FY10見通し	修正後 FY10見通し	10月時点比増減
売上高及び営業収入	72,140	74,000	72,000	△3%
営業利益	318	2,000	2,000	-
税引前利益	269	2,000	2,000	-
当社株主に帰属する当期純利益	△408	700	700	-
営業利益	318	2,000	2,000	-
控除: 持分法による投資利益	△302	150	100	△33%
戻し入れ: 構造改革費用	1,243	750	700	△7%
戻し入れ: 液晶テレビ関連資産の減損	271	-	-	-
上記調整後営業利益	2,134	2,600	2,600	-
設備投資額	1,927	2,300	2,300	-
減価償却費*	3,710	3,400	3,400	-
研究開発費	4,320	4,500	4,500	-
為替レート	実績レート (FY09)	前提レート (FY10 下半期)	前提レート (FY10 4Q)	
1 ドル	91.8 円	83 円前後	82円前後	
1 ユーロ	129.7 円	110 円前後	110円前後	

\* 無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含む

## FY10 連結業績見通し

(億円)

	FY09	10月時点 FY10見通し	修正後 FY10見通し	10月時点比増減
売上高及び営業収入	72,140	74,000	72,000	△3%
営業利益	318	2,000	2,000	-
税引前利益	269	2,000	2,000	-
当社株主に帰属する当期純利益	△408	700	700	-

### 売上高の見通し修正の主な要因:

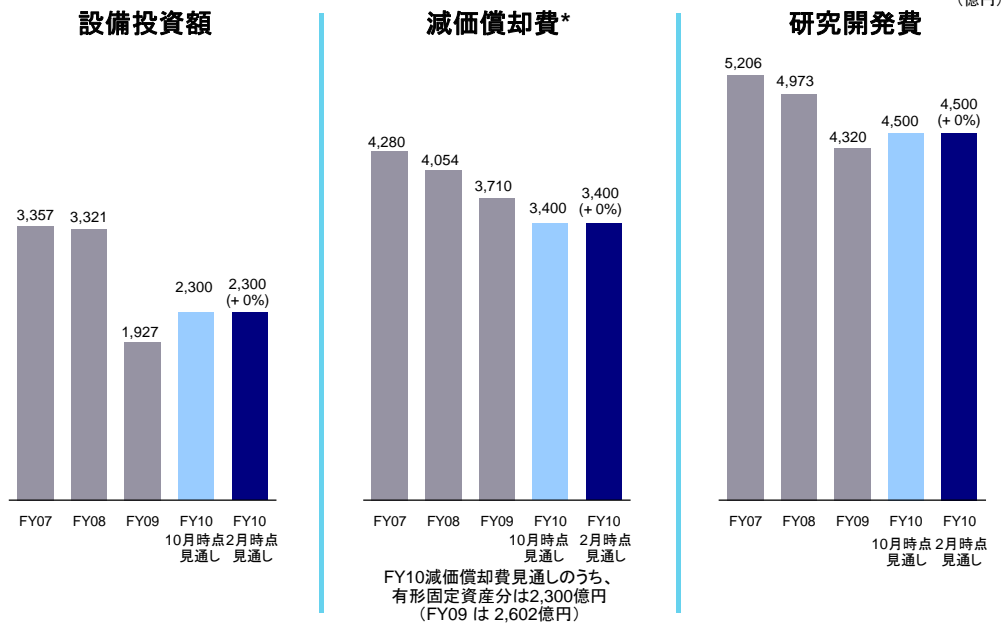
主にCPD分野の通期売上高の見通しを厳しく見ていることから、通期連結売上高が10月時点の想定を2,000億円下回る見込みであること。

### 営業利益の見通し:

通期見通しを変更していません。なお、主要な分野の通期営業利益見通しは以下のとおりです。

- ・NPS分野の通期営業損益が10月時点の想定を上回る見込みであること。
- ・映画、音楽及び金融分野において、通期営業利益が10月時点の想定をそれぞれ若干上回る見込みであること。
- ・CPD分野の通期営業利益が10月時点の想定を下回る見込みであること。

## FY10 設備投資額・減価償却費および償却費・研究開発費見通し



\* 無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含む。増減率は全て10月時点見通しとの比較

## 主要コンシューマーエレクトロニクス製品およびゲーム製品 売上台数・本数

(四半期・年度)

(万台、万本)

FY09					FY10					FY10
1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	FY見通し

### コンシューマーエレクトロニクス製品

液晶テレビ	320	330	540	370	1,560	510	490	790		2,300
ビデオカメラ	140	130	150	110	530	140	120	160		530
コンパクトデジタルカメラ	500	520	650	430	2,100	600	620	750		2,400
PC	110	140	230	200	680	190	230	270		880

### ゲーム

ハードウェア										
PlayStation 3	110	320	650	220	1,300	240	350	630		1,500
PlayStation Portable	130	300	420	140	990	120	150	360		800
PlayStation 2	160	190	210	170	730	160	150	210		600
パッケージソフトウェア										
PlayStation 3	1,480	2,390	4,760	2,930	11,560	2,480	3,530	5,760		全体で 前年度並
PlayStation Portable	830	1,300	1,500	810	4,440	920	1,100	1,650		
PlayStation 2	850	1,140	1,120	460	3,570	340	560	530		

## FY10 主要コンシューマーエレクトロニクス製品およびゲーム製品 売上台数・本数

(年度)

(万台、万本)

	FY09	FY10見通し	
	実績	10月時点	2月時点
液晶テレビ	1,560	2,500	2,300
ビデオカメラ	530	530	530
コンパクトデジタルカメラ	2,100	2,300	2,400
ブルーレイディスクレコーダー	70	100	100
ブルーレイディスクプレーヤー	330	550	500
DVDプレーヤー	1,150	1,100	1,100
PC	680	880	880
デジタルミュージックプレーヤー	800	770	800
PlayStation 3 ハードウェア	1,300	1,500	1,500
PSP (PlayStation Portable) ハードウェア	990	800	800
PlayStation 2 ハードウェア	730	600	600
PlayStation パッケージソフトウェア(全体)	19,570	前年度並み	前年度並み

## 半導体・液晶 売上高および設備投資額

(億円)

	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10見通し	
					10月時点	2月時点
<b>半導体</b>						
売上高	7,800	8,500	5,800	4,900	5,000	5,000
設備投資額	1,500	900	800	270	450	450
<b>液晶</b>						
売上高	1,400	1,300	900	900	1,600	1,600
設備投資額	180	50	50	30	70	70



## 為替レート推移

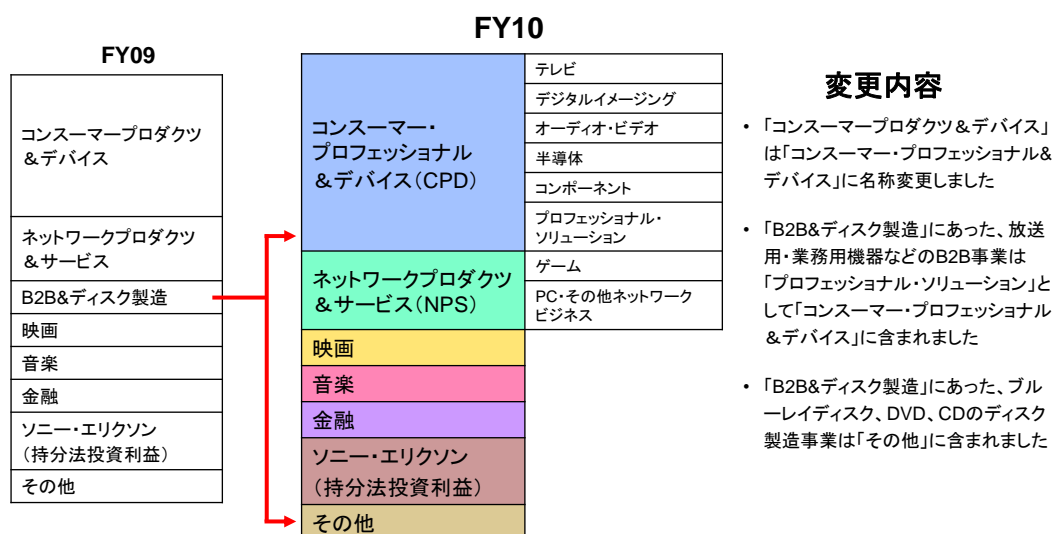
(円)

	FY09					FY10				
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY
米ドル										
市場レート(単純平均)	96	93	89	90	92	91	87*	84*		
市場レート(加重平均)	96	91	89	90	93	91	87*	83*		
予約レート	95	95	92	89	93	92	86*	82*		
ユーロ										
市場レート(単純平均)	131	132	131	124	130	115	109	111		
市場レート(加重平均)	131	132	132	124	130	115	109	111		
予約レート	126	133	133	132	132	122	113	111		

市場レート(加重平均): 各四半期の輸出ないしは輸入ヘッジ金額にもとづき、各月の市場平均レートを加重平均したもの  
 予約レート: 各四半期の輸出ないしは輸入ヘッジ金額にもとづき、各月の予約レートを加重平均したもの

\* ネット輸入ポジション (市場レートはTTSを適用)

## セグメント変更について



2010年4月1日付の組織変更にもとない、2010年度第1四半期より、事業報告におけるビジネスセグメントを変更

このスライドに記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭又は書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営者の仮定及び判断にもとづいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見直しを見直して改訂するとは限りません。ソニーはそのような義務を負いません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。(1)ソニーの事業領域を取り巻くグローバルな経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特にソニーが極めて大きな売上、生産コスト、又は資産・負債を有する米ドル、ユーロ又はその他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品や新サービスの導入と急速な技術革新や、主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい市場競争の中で、充分なコスト削減を達成しつつ顧客に受け入れられる製品やサービス(液晶テレビやゲーム事業のプラットフォームを含む)をソニーが設計・開発し続けていく能力、(4)技術開発や生産能力増強のために行う多額の投資を回収できる能力及びその時期、(5)市場環境が変化する中でソニーが事業構造の改革・移行を成功させられること、(6)ソニーが金融を除く全分野でハードウェア、ソフトウェア及びコンテンツの融合戦略を成功させられること、インターネットやその他の技術開発を考慮に入れた販売戦略を立案し遂行できること、(7)ソニーが継続的に、研究開発に十分な資源を投入し、設備投資については特にCPD分野において投資の優先順位を正しくつけて行うことができること、(8)ソニーが製品品質を維持できること、(9)ソニーと他社との買収、合併、その他戦略的出資の成否、(10)ソニーが、需要を予測し、適切な調達及び在庫管理ができること、(11)係争中の法的手続き又は行政手続きの結果、(12)生命保険など金融商品における顧客需要の変化、及び金融分野における適切なアセット・ライアビリティ・マネージメント遂行の成否、及び(13)(市場の変動又はボラティリティを含む)日本の株式市場における好ましくない状況や動向が金融分野の収入及び営業利益に与える悪影響などです。ただし、業績に不利な影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。